

Smart  
I

各レッスンの文法項目とトピックリスト

5つのZoneで身近なことから社会・文化的トピックへ展開

- 1st Zone ▶ 自分のことや身近な人のことを話す
- 2nd Zone ▶ 日々の生活について話す
- 3rd Zone ▶ したいことやしていることを話す
- 4th Zone ▶ 説明する・自分の考えを話す
- 5th Zone ▶ 異なることやコミュニケーションについて話す

Zone	LESSON	文法項目	トピック	タイトル	配当時間	
	<b>Introduction</b>		5文型と品詞		1	
1	1	現在形	自分のこと	Meeting People	2	
	2	過去形	休日・週末にしたこと	Holidays and Weekends	2	
	3	未来の表現	予定	Making Plans	2	
	4	現在完了形	経験	Experiences	2	
	5	過去完了形	学習・課外活動	Study and Activities	2	
	<b>Logical Writing ①</b>		叙述文を書いてみよう! (高校入学前の出来事)			0.5
	<b>1st Zone まとめ活動</b>		スピーチをしてみよう! (高校入学前の出来事)			0.5
2	6	助動詞①	食べ物	Food	2	
	7	助動詞②	学校生活	School Life	2	
	8	助動詞③	日常生活	Daily Life	2	
	9	受動態	交通や建物	Transportation and Buildings	2	
	<b>Logical Writing ②</b>		意見文を書いてみよう! (学校に規則は必要か)			0.5
	<b>2nd Zone まとめ活動</b>		Logical Thinking 論理的に考える			0.5

3	10	不定詞①	将来したいこと	The Future	2	
	11	不定詞②	健康	Staying Healthy	2	
	12	不定詞③	便利な製品	Convenient Products	2	
	13	動名詞	趣味・興味	Hobbies and Interests	2	
	14	分詞①	自然	The World of Nature	2	
	15	分詞②	トラブル・事故	Trouble and Accidents	2	
	<b>Logical Writing ③</b>		説明文を書いてみよう! (絶滅危惧種の動物)			0.5
<b>3rd Zone まとめ活動</b>		プレゼンテーションをしてみよう! (絶滅危惧種の動物)			0.5	
4	16	関係代名詞①	発明・進歩	Inventions and Breakthroughs	2	
	17	関係代名詞②	社会活動	Community Service	2	
	18	関係副詞	行事・慣習	Events and Customs	2	
	19	比較①	生活環境	Living Environment	2	
	20	比較②	社会問題	Social Problems	2	
	<b>Logical Writing ④</b>		問題解決文を書いてみよう! (日本の労働者不足)			0.5
	<b>4th Zone まとめ活動</b>		ディスカッションをしてみよう! (都会の暮らしと地方の暮らし)			1
5	21	仮定法	願い事	Making a Wish	2	
	22	接続詞	異文化を理解する	Cross-cultural Communication	2	
	23	that節	ことばとコミュニケーション	Languages and Communication	2	
	<b>Logical Writing ⑤</b>		説得文を書いてみよう! (英語の世界公用語化)			0.5
	<b>5th Zone まとめ活動</b>		ディベートをしてみよう! (英語の世界公用語化)			2
<b>計</b>					<b>54</b>	

# Smart I で文法をインプット → Smart II でアウトプット

Smart I で培った文法力を使って、**アウトプットする力**を養うことができます。  
発展的で抽象的なトピックで、論理的に考え、自分の意見を伝える力を養います。

## Smart II

### 各レッスンの文法項目とトピックリスト

Smart I の内容から発展して、**より抽象的で考える力を養うトピック**に

- 1st Zone ▶ 自分の将来や、学校・家庭での出来事を話す
- 2nd Zone ▶ 変化する社会と私たちの暮らしについて考える
- 3rd Zone ▶ 「こころ」のはたらきについて考える
- 4th Zone ▶ 世界の中の私と日本について考える
- 5th Zone ▶ 継続的に住みやすい世界について考える

LESSON	文法項目	タイトル	TARGET	配当時間
Introduction		論理的に発信するためのウォームアップ		1
1st Zone : 動詞・名詞の使い方		Daily life		
1	現在形／過去形／完了形／未来を表す表現	Future Plans	時系列にそって説明する	2
2	不定詞(名詞用法)／動名詞／不定詞を使う表現／名詞節	Free Time	考えや思いを伝える	2
3	助動詞／助動詞+have+過去分詞	Student Life	順序立てて説明する	2
1st Zone まとめの活動		スクリプトを書いてみよう！		1
Extra Activities①		話の展開を考えて叙述文を書こう！		1
2nd Zone : 形容詞の使い方		The Workings of Society		
4	形容詞／分詞／分詞形容詞	What You've Learned through Experience	具体的に説明する	2
5	名詞+形容詞句・前置詞句・分詞句・不定詞句／形容詞を使う構文	Modern Conveniences	特徴を説明する	2
6	関係代名詞／関係副詞	Sharing Information	情報を共有する	2
2nd Zone まとめの活動		スピーチをしてみよう！		1
Extra Activities②		論理的に文をつないで説得力のある文章を書こう！		1
3rd Zone : 副詞の使い方		The Nature of the Human Mind		
7	副詞	Languages and Cultures	複数の視点から客観的に分析する	2
8	不定詞(副詞用法)／不定詞を使う表現／分詞構文／前置詞句	Emotions and the Workings of the Mind	抽象的なテーマを論じる	2
9	副詞節	What Exactly Does Leadership Mean?	情報を追加・整理する	2
3rd Zone まとめの活動		プレゼンをしてみよう！		1
Extra Activities③		グラフの説明をしよう！		1

### Smart I → IIへ 文法力をアウトプットへつなげる

- be Smart I**
- 『総合英語be』と同じ文法配列。教科書例文は参考書と連動。
  - 文法を体系的に身につけ、定着させる。



- be Smart II**
- アウトプットに適した文法配列に再構成。機能(名詞修飾など)によって、各Zoneで文法事項をまとめた。
  - 活動しながら文法の復習もできる。

4th Zone : 比較と接続の表現		Globalization and Identity		
10	原級・比較級・最上級を使う比較／比較を使う表現	Introducing Japan	比較・対照する	2
11	仮定法過去／仮定法過去完了／wish/if only／仮定法を使う表現	Making Innovation Happen	話の展開の仕方を意識する	2
12	要求・必要・認識を表す表現／時制の一致／話法／時を表す表現	Embracing Diversity in Society	引用を効果的に用いて提案する	2
4th Zone まとめの活動		ディベートをしてみよう！		1.5
Extra Activities④		文章や発言の要約をしよう！		1
5th Zone : 英語らしい表現		Toward a Sustainable Society		
13	「ある」「いる」「なる」「するようになる」「かかる」の表現	Tourism and Japanese Society	手順を具体的に説明する	2
14	使役動詞／動詞+人+不定詞／動詞+名詞+分詞／知覚動詞	Food and Health	説得力のある理由を示す	2
15	主語の表し方／無生物主語／日本語と違う表し方	Issues Facing the World	問題点を明確にして解決策を示す	2
5th Zone まとめの活動		ディスカッションをしてみよう！		1.5
Extra Activities⑤		調査・分析をして文章にまとめ、発表しよう！		1
Plus Zone				
パラグラフ・ライティング		① 英語のパラグラフの書き方		1
		① 意見を述べるパラグラフ		1
		② 描写・説明するパラグラフ		1
		③ 比較・対照するパラグラフ		1
		④ 因果関係を説明するパラグラフ		1
		⑤ 問題解決を述べるパラグラフ		1
				計 48



# 授業展開例

Smart I・II共通

授業の方針や学習者の習熟度にあわせて、文法主軸/活動主軸、または文法と活動を組み合わせるなど、多様な授業展開が可能です。

## 授業2コマ/1レッスンのペースを想定した場合

	文法&活動 バランス型	文法主軸型	活動主軸型
導入 (1ページ目) モデル会話・英文	モデル会話・英文を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 会話の内容を確認 教科書  Listening-TASK ↓ 発音解説	モデル会話・英文を聞く ↓ 会話の内容を確認 教科書  Listening-TASK	モデル会話・英文を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 会話の内容を確認 教科書  Listening-TASK ↓ 発音解説
	基本例文確認 ↓ 文法解説 ↓ 文法演習 教科書 CHECK	基本例文確認 ↓ 文法解説 ●文法参考書 ●Grammar Book ●補助プリント ↓ 文法演習 教科書 CHECK	基本例文確認 ↓ 文法演習 教科書 CHECK ↓ 言語活動 教科書 TASK
定着 (2-3ページ目) 文法解説 例文, F-GUIDE 確認問題 CHECK 言語活動 TASK	言語活動 教科書 TASK ↓ 【宿題】 ●Grammar Book ●Workbook  授業では、教科書のみでコンパクトに文法解説・演習を行い、宿題の準拠教材で補強する	言語活動 教科書 TASK ↓ 【宿題】 ●Grammar Book ●補助プリント ↓ 余裕があれば活動 教科書 TASK 活動は1つ選んで行う ↓ 【宿題】 ●Grammar Book ●Workbook	【宿題】 ●Grammar Book ●Workbook  文法解説・演習は準拠教材に任せ、言語活動に時間を割く
	話す活動を行う 教科書  SHARE ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成	話す活動を行う 教科書  SHARE ①モデル英文の確認 ②ロールプレイ	話す活動を行う 教科書  SHARE ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ③グループで共有
発展 (4ページ目) 話す活動 SHARE 書く活動 WRITE	書く活動を行う 教科書  WRITE	書く活動を行う 教科書  WRITE パラグラフライティング	書く活動を行う 教科書  WRITE パラグラフライティング

1コマ目

2コマ目

## Smart I 教科書紙面紹介

## LESSON 1 Start-Up (導入)

ターゲットの文法項目が実際にどのように使われるのか、モデル会話で確認できます。

LESSON
1
Meeting People

**1** 1  
自分のことを話す

**Start-Up** Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.

Andy: What do you usually do after school, Kenta?  
Kenta: Me? I'm in the soccer club, so **I play soccer every day except Monday.**  
Andy: **Really!** You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?  
Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, we sometimes have soccer games.  
Andy: Wow! You don't have much free time.  
Kenta: No, not much. When there's no game on the weekend, I like to hang out with my friends.

**Listening-TASK** True or False? 1. T/F 2. T/F 3. T/F

**Tips for Better Communication** 相手からの問いかけに答えたら、関連する情報を1つ加えましょう。新しい情報があることで新たな興味や関心が生まれ、会話が続きます。

**Forms** 現在のことは現在形で表す  
住んでいるところや持っているもの、入っている部活のような現在の状態や、日々の暮らしの中で繰り返すことを表すときは、動詞の現在形を使います。  
動詞の現在形が表すのは「今」という時点だけでなく、過去から現在、そして未来へと広がる時の範囲を持って、playのような動きを表す動詞の現在形は、繰り返すようなことを表します。I play soccer. 「いつもサッカーをする」ことを表すことができます。

**Expressions** あいづちで関心を示す  
あいづちを打つことで、相手の話に関心を持っていることを伝えることができます。**Really!**は、下がり口調なら「そうなんだ!」、**Really?**と上がり口調なら「そうなの?」というニュアンスになります。理解を示すときはI see. やI understand. を、いい話だと思えばThat's nice. を、よくない話ならThat's too bad. のような表現を使います。

**Sounds** /l/と/r/の発音  
/l/は舌先を上歯茎にあてて発音し、/r/は舌先をどこにもつげず舌全体をうしろに引いて発音します。  
like, club, play, usually, actually, school / really, right, friend, free, cram, every, very, light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

**Talk**  
会話の内容を確認し、AndyとKentaになりきって会話をしてみよう!

**Pick-Up** 入っている部活動は、I'm in the soccer club. のように言えば簡単です。I belong to ... (私は...に属している) だと少しかたい表現になります。運動部なら、I'm on the tennis team. のように言うこともできます。

**TT** Robin and Robert live in Rockford and lead a really lively life.

**各レッスンでトピックを設定**

- モデル会話
- 基本例文
- 文法確認
- 活動
- 語彙

↑  
トピックで統一

**リスニング問題例**

**True or False?**

1. Kenta plays soccer on Tuesdays.
2. Kenta doesn't go to cram school.
3. Kenta likes to spend time with his friends when he isn't too busy.

**授業の流れ**

- 1 **Start-Up** で文法が使われる状況・場面を確認。
- 2 **Listening-TASK** で会話の内容確認。
- 3 **Forms** や **Expressions** で、文法や表現への理解を深める。

特色① 構成・使い方

特色② I教科書紙面

特色③ 生徒用教材

文法と活動をバランスよく授業で扱うことができる構成です。文法学習→確認(CHECK)が  
終わったら、「学んだことをその場で使ってみる」活動(TASK)を通して文法の定着を図ります。

Interactions Talking about Yourself or People Close to You

A 現在のことを表す

現在形

- ① I **have** a cat and **love** him so much.
- ② I **usually get** to school at 8:30.
- ③ My mother **teaches** biology at a high school.

**F-GUIDE** 次のような場合は動詞の現在形を使う。

- ① 「持っている」「住んでいる」のような現在の状態や、「好きだ」のような現在の心理的な状態を表すとき。
- ② 繰り返すことや習慣になっていることを表すとき。usuallyのような副詞を使うと頻度を表すことができる (always > usually > often > sometimes > rarely > never)。
- ③ 職業や習性、話す言語などを表すとき (She speaks several languages.)。

**CHECK** [ ] から選んだ動詞を適切な形にして空所を埋めよう。

1. My father ( ) cars and ( ) for a car company.
  2. He ( ) a car, but he rarely ( ) it.
  3. He usually ( ) home at seven and ( ) home before dinner.
  4. He always ( ) of us and ( ) care of us.
- [ like / take / work / leave / think / come / have / drive ]

**TASK 1** **CHECK** の文を参考にして、自分の家族や親戚、友人を紹介する文を書いてみよう。

**CHECK** が  
**TASK** の解答例

**TASK 2** ペアになって **TASK 1** で自分が書いたことを話してみよう。話が終わったら、ペアの相手は内容に関する質問をしたり、**E-GUIDE** の表現を使ったりしながら会話を続けてみよう。相手が話したことに関連する質問 (Follow-up questions) もしてみよう。

- 例 A: What does your father do at work?  
B: He designs cars.  
A: Wow, that's interesting! What kind of cars does he design?  
B: He designs ...

**E-GUIDE** 相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。

- ・ I see. ・ I understand. ・ I think so, too. ・ I can't believe it! ・ Really? ・ No way! ・ Yes, indeed.
- ・ That's nice (good/great/wonderful/fantastic). ・ That's too bad. ・ Is that true?
- ・ You're kidding! ・ Are you serious?

**音声** 音声を聞いて、その応答としてふさわしいものをABCから1つ選ぼう。

Vocabulary

- ・ relative
- ・ childhood friend
- ・ work for [in]
- ・ resemble (look like)
- ・ be good at
- ・ graduate from
- ・ come from
- ・ ask one's advice
- ・ analyze data
- ・ do club activities
- ・ leave for school
- ・ go to cram school
- ・ do one's homework
- ・ watch videos online
- ・ play the guitar
- ・ text friends

B 途中であることを表す

現在進行形

- ④ I'm **writing** an essay for my English class.
- ⑤ I think my cat **is getting** fat.

**F-GUIDE** 次のような場合は現在進行形 (am/are/is + 動詞のing形) を使う。

- ④ 現在している最中のことを表すとき。
- ⑤ 変化している途中のことや、現在の一時的な状態 (She's living in New York.) を表すとき。



**TASK** 写真の状況に合うように空所を埋めてから、続きを考えて書いてみよう。



The man and woman on the right side of the picture are ( ) with each other. They are probably ( ) a break. The man is ( ) a cup of coffee. The man with gray hair is the office manager, and he is ( ) to the woman. She is ...

C これからの予定を表す

現在進行形・現在形・予定

- ⑥ My grandmother **is visiting** us tomorrow.
- ⑦ My brother **graduates** from college *this month*.

**F-GUIDE** 現在進行形や現在形を使って、これからのことを表すことがある。

- ⑥ これからしようとしている個人的な予定を表すときに現在進行形を使う (「いつするのか」を示す表現を入れる)。
- ⑦ 確定している予定を表すときは現在形を使う (The express train leaves at noon.)。



**TASK** ① 今日の放課後の予定か週末の予定、② 学校の行事について書いてみよう。

- 例 ① I'm going to a concert with my sister this Sunday. I'm really looking forward to it.
- ② The midterm exams start on May 20, so I'm preparing for them this weekend.

活動(TASK)のアイコン

アイコンを大きく見やすく配置。  
**TASK** でどの活動ができるか一目瞭然。

- やり取り
- 発表
- 書く
- 協同学習

\ Input /

文法の確認

- ① 7つの基本例文
- ② 簡潔な文法解説 (F-GUIDE)
- ③ 文法確認 (CHECK)

\ Output /

文法の定着

- ④ コンパクトな活動 (TASK) で「学んだらすぐに使ってみる」

文法を自然に使える場面・状況設定

TASK をサポート

多種多様なワークシートで文法学習(Input)も活動(Output)も徹底サポート

SHARE と WRITE で、各レッスンの総仕上げをすることができます。

Active Learning  
Introducing Yourself



Speakingの Goal → SHARE 自己紹介をしよう

① 自己紹介をしている次の文を読もう。

I'm Honda Kenta. I graduated from Higashi Junior High School. I like soccer very much. I'm on the school soccer team and we practice every day. I think I'm outgoing. I hope I can make a lot of friends here.

上の例を参考に、自己紹介の文を考え、メモにまとめよう。

Name	I'm _____.
your junior high school	I graduated from _____.
your favorite things / character	_____.
your goals in high school	I hope _____.

③ グループになって、順番に自己紹介をしよう。

- ・ Hello, everyone! で始め、Thank you for listening. Do you have any questions? で締めよう。
  - ・ 聞き手は質問を1つしよう。
- 例 What position do you play? / Do you like any other sports?

Self-Check

自分のことについて伝えることができた。③ ② ①  
相手が話したことに関する質問ができた。③ ② ①  
③: よくできた。②: まあまあできた。①: あまりできなかった。

Writingの Goal → WRITE いつもの行動を書こう

ステップを踏んで  
取り組める

①の空所補充問題で文法事項を確認しながら、②で自由英作文を書く内容のヒントにも。

① いつもの朝の行動を述べた文を読んで、[ ] から適語を選び、空所を埋めよう。

I usually ( ) up at 7:00 in the morning. After I wash my face and get dressed, I always ( ) a traditional Japanese breakfast with my family. I ( ) home at 8:00 and get to school by 8:30. [ have / leave / get ]

② 自分の毎朝の行動 (morning routine) や帰宅後の行動 (evening routine) を、40語程度で書いてみよう。Logical Thinking を参考にしよう。

Self-Check

いつもの行動について、40語程度で表現できた。③ ② ①  
時間の流れにそって、自分の行動を適切な動詞を使って書くことができた。③ ② ①  
③: よくできた。②: まあまあできた。①: あまりできなかった。

Logical Thinking

「毎朝の行動」や「帰宅後の行動」など、いつもの行動を伝えるときは、時間の流れにそって話したり書いたりします。短い文が続くときは、接続詞 and を使って文をつなぐと不要な繰り返し省けます。I wash my face and get dressed. では and のあとに I を入れる必要はありません。

充実のワークシートでサポート

p.43

QRコード

QRコードからのアクセスで、簡単に音声やフラッシュカードで学習できる。

Start-Up Sounds TASK Vocabulary  
Listening-TASK 基本例文 E-GUIDE p.48

QR  
音声

LESSON 14  
The World of Nature  
自然について話す



Start-Up Bob and Yuka are talking in the school cafeteria at lunchtime.

Bob: How was your vacation in Hawaii, Yuka?

Yuka: It was really fun! We stayed in a room facing the sea. We went snorkeling and got so excited when we saw some sea turtles.

Bob: You saw sea turtles? Wow, I'm so jealous.

Yuka: Also, we were able to swim with dolphins.

It was fascinating!

Bob: I'm happy to hear you had a great time.

Yuka: Thanks. If you ever have a chance to go there, you should take it.

Listening-TASK 1. T / F 2. T / F 3. T / F

Tips for Better Communication

楽しかった話を聞いたとき、日本語では「よかったね」くらいの反応をすることが多いのですが、英語では I'm happy to hear you had a great time. のように少し大きげさと思うくらいの反応をします。思い切って喜んだり、ほめたりしてみましょう。

Forms 「～する」「～された」という状況を分詞で説明する

「海に面している部屋」は、分詞を使って a room facing the sea で表します。このように分詞を使って、その人やものがどのような状況にあるかを説明することができます。「～する」「～している」という能動の意味を表すときは現在分詞、「～された」「～されている」という受動の意味を表すときは過去分詞を使います。a cottage surrounded by palm trees なら「ヤシの木に囲まれたコテージ」という意味です。

分詞には、excited や fascinating のように形容詞として使われるものもあります。「興奮した」のように感情を表すときは I got excited. のように過去分詞を使い、「興奮させるような」という意味を表すときは It was an exciting moment. のように現在分詞を使います。

Expressions 感情を表す

相手に「うらやましい」と伝えたいときは I'm (so) jealous. や I envy you. と言います。感情を表す表現には、I'm (so) glad. / I'm happy. (うれしい) などがあります。I'm happy to hear you had a great time. のように、不定詞 (to hear ...) を使って原因や根拠を表すことができます (p.71 参照)。

Sounds /s/ の発音

stay や sea の s の音は、舌先を上歯茎に近づけて、すき間から強く息をもらすようにして発音します。

stay, sea, snorkeling, so, some, swim, surrounded, study, message, face

Talk

会話の内容を確認し、Bob と Yuka になりきって会話をしてみよう!

Pick-Up

If you ever have a chance to go there のように、if 節の中で ever を使うと「もしいつか(機会が)あるとしたら」という意味を表します。If you ever come this way, please call me. (もしいつか近くに来ることがあれば、電話をしてください)

TT Sally swam in several seas on her sister's advice.

Interactions Talking about the Natural World

A 感情を分詞形の形容詞を使って表す

分詞形容詞

- ① Swimming with dolphins was **amazing**.
- ② I was **amazed** at the beauty of the ocean.

**F-GUIDE** 人の感情に関することを表す分詞形の形容詞は次のように使う。

- ① amazingのような**現在分詞形**の形容詞は、「人にその感情を**起こさせる**」という意味で使う。
- ② amazedのような**過去分詞形**の形容詞は、「人がその感情を**抱いた**」という意味で使う。

**CHECK** 与えられた動詞を適切な形にして空所を埋めよう。

- The view from the top of Mt. Fuji was ( ). And I was ( ) at the beauty of the sunrise. [ amaze, surprise ]
- Megan is ( ) with her new home near the woods, because she is ( ) in wild animals. [ delight, interest ]
- Hiking along the Kumano Kodo was ( ). I was ( ) to walk through the beautiful forest. [ excite, thrill ]

**TASK 1** 自然や動植物にふれて心を動かされたことについて書いてみよう。

例 I visited Australia for the first time last month. I was surprised at the beauty of the Great Barrier Reef. Swimming there was so exciting.

**TASK 2** ペアになって **TASK 1** で自分が書いたことを話してみよう。話が終わったら、ペアの相手は内容に関する質問をしたり、**E-GUIDE** の表現を使ったりしながら会話を続けてみよう。

例 A: I went to the Great Barrier Reef in Australia last month.  
B: You went to the Great Barrier Reef? That's awesome. What did you do there?  
A: Well, my brother and I did a lot of different marine activities.  
B: How nice! Did you go snorkeling?  
A: Yeah. We were so surprised at how clear the water was. Seeing the marine life was amazing.  
B: You're so lucky.

**E-GUIDE** 相手が言ったことに「いいなあ」という感情をもったら、次のように表そう。

- ・You're (so) lucky! ・Lucky you! ・That's awesome! ・That's great! ・Wonderful! ・How nice!
- ・I'm (so) jealous. 「うらやましい」という意味でよく使われる。 ・I envy you. 少し大げさで嫉妬心が含まれる。

音声アイコン 音声を聞いて、その応答としてふさわしいものをABCから1つ選ばう。

Vocabulary

- ・go hiking
- ・wildlife sanctuary
- ・forest
- ・be surrounded by
- ・grow plants
- ・habitat
- ・valley
- ・be situated in
- ・live close to nature
- ・landscape / scenery
- ・national park
- ・be frightened at[by]
- ・abandoned cats
- ・waterfall
- ・walking trail
- ・be moved[touched] by

B 「～する」「～された」を分詞で表し名詞に説明を加える

限定用法

- ③ The tree **standing** in the middle of the field is over 100 years old.
- ④ Beavers live in **homes made** of branches and mud.

**F-GUIDE** 分詞は名詞に説明を加えるときに使うことができる。

- ③ 「～する」「～している」という意味を名詞に加えたいときは**現在分詞**を使う。
- ④ 「～された」「～されている」という意味を名詞に加えたいときは**過去分詞**を使う。
- ④ 分詞1語で名詞に説明を加える場合は、living fossils (生きている化石) や endangered plants (絶滅の危機にさらされた植物) のように名詞の前で使うことができる(これらの分詞は形容詞のように使われている)。

**TASK** 1の写真を見て、( )内の動詞を適切な形にして空所を埋めてから、続きを考えて書いてみよう。完成した英文を参考に、2の写真について調べたことを英語でまとめよう。



1 mushrooms 2 puffer fish  
People are often amazed at plants and animals (find ) in the forest. Among them are these mushrooms. They are beautiful but poisonous. We should always be careful of any mushrooms (grow ) in the wild. Sometimes people get sick from dishes (make ) with poisonous mushrooms. The natural world can be ...

C 分詞を使って状況を表す

叙述用法/付帯状況

- ⑤ Some sharks have to **keep swimming** to breathe.
- ⑥ There are several hippos **bathing** in a pond.
- ⑦ A duck is standing on a rock **with its wings flapping**.

**F-GUIDE** どういう状況にあるのかを分詞を使った表現で表すことができる。

- ⑤ 「～し続ける」は〈keep+現在分詞〉で表す。「～のままに」は、remain standing (立ったままに) や remain seated (座ったままに) のように〈remain+現在分詞/過去分詞〉で表す。
- ⑥ 〈There+be動詞+名詞+現在分詞/過去分詞〉で、どういう状況で存在しているのかを表す。
- ⑦ 「何か～している/～された状態」は、〈with+名詞+現在分詞/過去分詞〉で表すことができる。
- ④ 〈spend+時間+現在分詞〉(Bears spend long hours looking for food.) という表現で状況を表すこともある。

**TASK** あなたの家の周りの自然や動植物を描写してみよう。

例 I spend a lot of time walking by the river by my house. One side of the river remains covered in moss all year round. There are also fireflies glowing there on summer nights. Once, I saw a raccoon dog there. It was sleeping with its tail curled up.

- ・be impressed by[with]
- ・preserve nature
- ・risky
- ・protect the environment
- ・fatal poison
- ・extinct / extinction
- ・license to serve
- ・endangered species

**Self-Check** (できることに✓を入れよう)

- A 感情を分詞形の形容詞を使って表せる。
- B 分詞で名詞に説明を加えられる。
- C 分詞を使って状況を表せる。

音声アイコン

**TASK** の空所補充問題に音声をご用意。リスニング問題としても活用できる。

**TASK** の空所補充問題

- 空所補充問題で文法事項を確認。
- 学習文法項目を使うことが自然な場面や状況の英文を書くヒントに。

QR 音声

QR 音声

機能表現の学習も充実

表現の例を使った会話のリスニング問題を3題ご用意。

リスニング問題例

1. How did you feel about that electric car?  
A: I feel great about the offer.  
B: Sure, I'd like to drive it.  
C: Well, the engine was very quiet.

QR 音声

フラッシュカード 音声・和訳付

## Active Learning The World of Nature

SHARE 自然・動植物について話そう



アイデア出しを  
サポート

先で目にした自然や動植物について述べた次の文を読もう。  
My friend and I went camping in Hokkaido last summer. There were lots of wild animals looking for food or drinking water in the river. When we saw a big deer, we got very excited. However, wild animals can be dangerous. If we come across wild animals, we must stay away and avoid contact.

この例を参考に、自然や動植物について話したいことを自由に考え、メモにまとめよう。

自然や動植物をわかりやすく描写し、それらに関わる問題などがあつたらメモに加えよう。

Nature, plants, or animals:

Description

Any problems relating to it?

③ グループになって、順番に発表しよう。

Self-Check ✓

伝えたい自然や動植物のことを、わかりやすく描写できた。③②①  
自然や動植物に関わる問題点などを伝えることができた。③②①

WRITE 自然・生態系が直面している問題を考えよう

① 生態系が直面している問題を紹介した文を読んで、[ ] から適語を選び、空所を埋めよう(必要があれば形を変えること)。

There are a lot of plants and animals ( ) in this national park. Unfortunately, some of them are in danger of extinction because of human activities. People are often ( ) to hear this. They don't realize how fragile the habitats of these ( ) species are. I would like more people to know about this problem.

[ find / endanger / shock ]

② 自然や生態系が直面している問題を選び、自分の意見も含めて60語程度で書いてみよう。

Self-Check ✓

自然や生態系が直面している問題について、60語程度で表現できた。③②①  
情報の羅列だけでなく、自分の意見も述べる事ができた。③②①

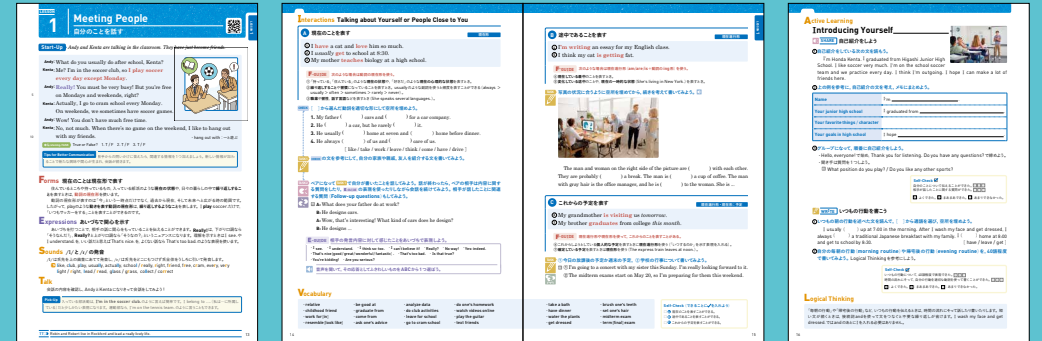
与えられたトピックにどう取り組むかを、  
具体的にアドバイス。

Logical Thinking

今起きている問題について述べる時は、客観的な事実やデータを紹介することが大切です。問題についてよく調べて正確な情報を提供すれば話の客観性が高まります。また、情報の羅列にならないように、自分の考えも述べましょう。その問題をみんなが考えてくれるきっかけとなるかもしれません。

## 各Zoneの構成 Smart I・II 共通

本課で学習したこと、活動した内容が、  
Zone末のまとめの活動で活用できる  
構成になっています。



本課を学習

## Zone末の活動へ

Smart I

各Zone末に、Logical Writing (「書く」活動 ▶ pp.18-19 )とまとめの活動 (「やり取り」・「発表」の活動 ▶ pp.20-21 ) をセットで配置。各レッスンのトピックと関連しているので (▶ pp.4-5 )、本課でのコンパクトな活動からハードルの高い活動へ、スムーズに移行できます。

1st Zone	Logical Writing ①	叙述文を書いてみよう! (高校入学前の出来事)
	1st Zone まとめ活動	スピーチをしてみよう! (高校入学前の出来事)
2nd Zone	Logical Writing ②	意見文を書いてみよう! (学校に規則は必要か)
	2nd Zone まとめ活動	Logical Thinking 論理的に考える
3rd Zone	Logical Writing ③	説明文を書いてみよう! (絶滅危惧種の動物)
	3rd Zone まとめ活動	プレゼンテーションをしてみよう! (絶滅危惧種の動物)
4th Zone	Logical Writing ④	問題解決文を書いてみよう (日本の労働者不足)
	4th Zone まとめ活動	ディスカッションをしてみよう! (都会の暮らしと地方の暮らし)
5th Zone	Logical Writing ⑤	説得文を書いてみよう! (英語の世界公用語化)
	5th Zone まとめ活動	ディベートをしてみよう! (英語の世界公用語化)

Smart II

各Zone末に、まとめの活動 (「やり取り」「発表」の活動 ▶ pp.32-33 )とExtra Activities (「書く」活動 ▶ pp.34-35 ) をセットで配置。

Logical Writing ①

叙述文を書いてみよう!



叙述文とは

自分が体験した出来事などについて、順を追って述べる文章が叙述文です。休日にしたこと、旅行で体験したこと、部活動で経験したことなど、思い出に残っていることを文章にします。

1st Zoneでは、自分のことを述べたり、楽しかった出来事について述べたり、休日のことや旅行のこと、学習や課外活動について述べたりする活動をしてきました。このLogical Writing ①では、1st Zoneのライティング活動のまとめとして、100～130語の叙述文(Narrative Paragraph)を書いてみることにします。

**TASK** 思い出に残っている高校入学前の出来事について、100～130語のパラグラフを書こう。

叙述文の書き方

叙述文では、出来事を時間軸にそって順を追って述べていきます。まず、導入としてどんな出来事なのかを示してから出来事の内容を具体的に述べ、最後に感想などでまとめる、というのが叙述文の一般的なスタイルです。

- 導入** どんな出来事について述べるのかを示す(いつ、どこで、だれが、何をしたのか)
- 内容** 出来事の内容を時間軸にそって具体的に述べる
- 感想** 出来事に関する感想や学んだことなどを述べる

まず、次のパラグラフを読んでみましょう。

My First Day in Seattle

When I first went abroad, I was fourteen years old. I wanted to improve my English, so I decided to take part in an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. The journey took about fourteen hours. When we arrived at the school, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. Then, after a couple of hours, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me.

(128 words)

叙述文で大切なこと

叙述文では出来事を時間軸にそって書くことが求められますから、出来事の順番が前後しないようにしなければなりません。また、読む人の興味を引くような内容にすることも大切です。

形式を確認

叙述文に限らず、英語のパラグラフを書くときには形式に気を配る必要があります。以下のチェックポイントを毎回確認するようにしましょう。

- パラグラフの始めの字下げ(インデント)はできているか。パラグラフ内の文は改行せず連続して書かれているか。
- 大文字小文字や、コンマ・ピリオドなどのパンクチュエーション(句読法)は適切に使われているか。
- 内容を適切に表すタイトルがつけられているか。タイトルは中央に書かれているか。

叙述文で使う表現

叙述文では、時間の前後関係を表す次のような表現を使って、出来事の流れがわかりやすくなるようにします。

first, second, after that, then, later, next  
when, while, before, after, as soon as

また、いつのことを述べているのかを示す動詞の形には十分注意しましょう。過去のことは過去形、過去のある時点よりも前のことはwe were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for usのように過去完了形を使います。

では、次のステップに従って、**TASK**で示されたトピックについて叙述文を書いていきましょう。

何について書くか考える

**STEP 1** まず、どの出来事について書くのかを考えます。いくつかのトピックの中から一つを選びます。

アウトライン(あらすじ)を書く

**STEP 2** 読み手の興味を引くことができそうな出来事を選んで、アウトラインをつくります。ここではまだメモ程度でかまいません。

パラグラフを書く

**STEP 3** アウトラインができたら文章にしていきます。書き終えたら、読み手から見てわかりやすいように直します。

リバイズ(修正)する

**STEP 4** パラグラフを書き終えたら、ペアの相手かグループのメンバーと話し合い、チェックリストを使ってお互いに気づいたことを伝え合い、書き直します。

ライティングチェックリスト

- 形式**: タイトル、インデント、パンクチュエーションなど形式は適切か
- 構成**: 時間軸にそって出来事が書かれているか
- 内容**: 出来事の内容が伝わるように書かれているか
- 文法**: 時制(動詞の形)は適切か
- 表現**: 時間の前後関係を示す表現が適切に使われているか

Zone内の各活動がトピックと連動

本課の学習や活動が生かせる。

本課内の**TASK**の発展学習

Zone末活動①  
Logical Writingの**TASK**

Zone末活動②  
スピーチの**TASK**  
▶ pp.20-21

Zone内で**TASK**のトピックが連動。

**TASK** に無理なく取り組めるワークシートをご用意

まとまった文章を書くのが苦手な生徒も取り組みやすい、ステップを踏んで**TASK**に取り組めるワークシートを指導用データDVD-ROMに収録。▶ p.41

Logical Writing ワークシート

Logical Writing ①	教科書 pp.34-35	年 組 番
叙述文を書いてみよう!		氏名
このLogical Writing①では、1st Zoneのライティング活動のまとめとして、100～130語の叙述文(Narrative Paragraph)を書きます。		
<p>叙述文とは</p> <p>自分が体験した出来事などについて、順を追って述べる文章が叙述文です。休日にしたこと、旅行で体験したこと、部活動で経験したことなど、思い出に残っていることを文章にします。</p>		
<p><b>TASK</b></p> <p>思い出に残っている高校入学前の出来事について、100～130語のパラグラフを書こう。</p>		
<p>■出来事に関して、メモにまとめましょう。(日本語でも構いません)</p>		
When?		
Where?		
With whom?		

Logical Writing  
とセットで  
取り組める TASK

- Logical Writingで書いたパラグラフを, スピーチ原稿に改編。  
▶ pp.18-19
- 「発表」の活動に集中できる構成。

Speech

スピーチをしてみよう!



スピーチとは

集まっている人の前で自分のことを話したり, あるテーマについての自分の考えを述べたりするのがスピーチです。用意した原稿を「読む」のではなく, 聞いている人の目を見ながら(アイコンタクト)語りかけるようにすることが大切です。また, 声の大きさや話す速さ, メリハリにも気をつけて, 聞き手の心をつかむようにしましょう。ときには表情や手振りで感情や意思などを表すことも有効です(ただし, 不自然にならないように)。

**TASK 1** 思い出に残っている高校入学前の出来事について, 1分間でスピーチをしよう。

スピーチ原稿を書く

1分間のスピーチでは, 110~140語の文章を読むことができます。したがって, この語数を参考に原稿をつくるようにしましょう。

スピーチを始めるときは, まず「あいさつ」と「自己紹介」をします。クラスでのスピーチならHi, everyone. I'm Hana.のような短いものでよいでしょう。次に, スピーチのテーマや目的をI'd like to talk about .... / I'm going to talk about ....のように伝えてから, スピーチの内容へと入っていきます。

ここで, モデルとなるスピーチ原稿を見てみましょう。Logical Writing ①のモデルパラグラフをスピーチ原稿にしたものです。

Hi, friends. I'm Hana. Today, I would like to talk about my first day in Seattle. When I was fourteen years old, I went to the United States. I wanted to improve my English, so I decided to join an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. When we arrived at the school after a long journey, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. After the party, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me. (139 words)

スピーチで大切なこと

スピーチでは最初の「つかみ」が大切です。みんなが「聞いてみたい」と思うような内容でスピーチを始めましょう。Hanaのスピーチの場合は, my first day in Seattleだけで「シアトルに行ったんだ」「何をしに行ったんだろう」「どんなことがあったんだろう」と聞く人は思うでしょう。また, Have any of you been abroad?のように問いかけたり, 聞く人が興味をもちそうな事実でスピーチを始めるのも効果的です。シアトルという都市について話すのであれば, Seattle is the birthplace of the worldwide coffee chain.のような内容が考えられます。

スピーチをしてみよう!

では, Logical Writing ①で作成した叙述文をスピーチ用の原稿にして, 次の点に留意してグループ内で発表しましょう。

- 原稿を棒読みするのではなく, みんなのほうを見ながら話します。
- みんなにははっきりと聞こえるように, 声の大きさや話す速さにも気をつけます。
- 英語の発音や抑揚も意識して, 必要などころにはポーズを入れて聞きやすくします。
- その時の気持ちが伝わるような話し方をします(楽しかった場面は楽しそうに)。
- 最後はThank you. / Thank you for listening. でスピーチを終わらせます。
- 聞いている人は, スピーチが終わったら拍手をしましょう!

全員のスピーチが終わったら, **TASK 2** に挑戦してみましょう。

**TASK 2** 思い出に残っている高校入学後の出来事について, 1分間でスピーチをしよう。

STEP 1 何について話すか考える

まず, どの出来事について話すのかを考えます。いくつか思い出に残っている出来事をリストアップします。

STEP 2 アウトライン(あらすじ)を書く

聞く人の興味を引くことができそうな出来事を選んで, 「導入」→「内容」→「感想」のアウトラインをつくりまます。

STEP 3 スピーチ原稿を書く

アウトラインができたらスピーチ用の原稿にします。最初の「つかみ」で聞く人の興味を引くことができるようにします。書き終わったら読み直して修正します。

STEP 4 発表する(スピーチ)

スピーチ原稿ができたら, ペアまたはグループになって発表した留意点に気をつけます。

スピーチへのフィードバック

スピーチが終わったら拍手をし, 次のチェックリストを使って気す。また, 発表した内容に関して聞きたいことがあれば質問しましょう。

スピーチチェックリスト

- アイコンタクト・姿勢: みんなのほうを見て話していたか
- 声の大きさ・速さ・ポーズ: 聞きやすかったか
- 発音・抑揚: 棒読みになっていなかったか
- 構成: 「導入」→「内容」→「感想」の構成になっていたか
- 内容: 聞く人の興味を引くような内容でわかりやすかったか

話す TASK に無理なく取り組める  
ワークシートをご用意

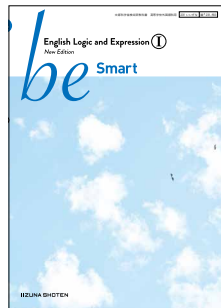
話す活動が苦手な生徒も取り組みやすいように, アイデア出しのヒントを盛り込んだワークシートを「指導用データDVD-ROM」に収録。▶ p.41

Zone末活動用ワークシート

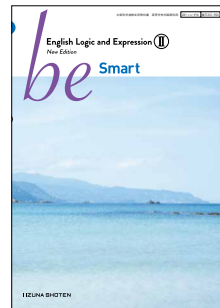
Speech	教科書 pp.36-37	年 組 番
スピーチをしてみよう!		氏名

**スピーチとは**  
集まっている人の前で自分のことを話したり, あるテーマについての自分の考えを述べたりするのがスピーチです。用意した原稿を「読む」のではなく, 聞いている人の目を見ながら(アイコンタクト)語りかけるようにすることが大切です。また, 声の大きさや話す速さ, メリハリにも気をつけて, 聞き手の心をつかむようにしましょう。ときには表情や手振りで感情や意思などを表すことも有効です。

**TASK**  
思い出に残っている高校入学前の出来事について, 1分間でスピーチをしよう。



Iで文法をインプット



IIでアウトプットを練習

	Smart I	Smart II
本文頁数	152頁	128頁
レッスン数	23レッスン	15レッスン
指示文	日本語	英語

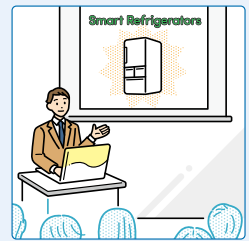
① 導入 Start-Up	Start-Up	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3往復の会話 (文法項目の使用モデル)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 100-140語程度のモデル英文 (WRITE のヒント)</li> <li>● 各課GOALの WRITE で達成したいTARGETを設定</li> </ul>
② 定着 Interactions	文法項目・例文	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3項目</li> <li>● 7つの基本例文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4項目 (Iと文法配列を変更。よりアウトプットにつながる流れに pp.6-7)</li> <li>● 8つの基本例文</li> </ul>
	CHECK	CHECK で文法確認 → TASK の解答例に	
	TASK	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 穴埋め問題など文法確認ができる、書いて確認する TASK が多め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学んだ文法が TASK ですぐに使え、文法学習がアウトプットにつながる</li> </ul>
	Vocabulary	TASK や WRITE のヒントとなる	
③ 発展 Active Learning	SHARE	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ペアやグループで、例を参考に「やり取り」「発表」の活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● WRITE のプレーンストーミングとして、ペアやグループでアイデア出し</li> </ul>
	WRITE	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空所補充で作文例を完成させ、それを例に40-60語の英文を「書く」活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3つのStepの指示と、作文例を参考に80-120語の英文を「書く」活動</li> </ul>
	Logical Thinking	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 論理的に考え、判断し、表現するための基礎を紹介</li> </ul>	—
	INTERVIEW	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トピックに関連した問いに自分の意見を述べる</li> </ul>

# LESSON 5 Modern Conveniences

TARGET 特徴を説明する

Start-Up Alan is giving a presentation on smart devices in class. He has just returned from the U.S. and is explaining what he experienced there.

Smart devices are an essential part of our lives now. People are likely to first think of smartphones, but other devices such as smart refrigerators are also becoming popular. In fact, over 30% of the refrigerators sold in North America are smart ones. They can tell us which foods are being stored. Currently, refrigerators with the latest technology have the ability to send an alert to the owner when certain kinds of food are about to spoil. These devices record when food is put into the refrigerator and send a notification to their owners. Smart refrigerators are certain to become even more common in the future.



Listening-TASK Q1 ①②③ Q2 ①②③

- Try!
1. 具体例として smart refrigerator を示すのに使われている表現を確認しよう。
  2. smart refrigerator の機能を具体的に説明している部分に下線を引いてみよう。

### Forms 形容詞のはたらきをする句をつくる

名詞のあとに分詞や不定詞、前置詞を使う語のまとまり (形容詞句) を続けることで、名詞に説明を加えることができる。the refrigerators sold in North America (ℓ.4) は分詞句、refrigerators with the latest technology (ℓ.6) は前置詞句、the ability to send an alert (ℓ.7) は不定詞句が、それぞれ直前の名詞に説明を加えている。

### Expressions 具体例を示す

具体例を示すときは、such as (ℓ.3) のほか、for example や for instance のような表現を使うとわかりやすくなる。

### Speaking 品詞によって異なる発音に注意する

record (ℓ.8) は、「～を記録する、録音する」という意味の動詞の場合は /rɪkɔːrd/ で、「記録」という意味の名詞の場合は /rɪkərd/ という発音になる。アクセントの位置も異なるので注意しよう。lives (ℓ.1) は、life の複数形で /laɪvz/ と発音する。動詞の live は /lɪv/、形容詞の live は /laɪv/ と発音する。

### Tips for Logical Communication 数値を示して説得力をもたせる

smart refrigerator について、単に are also becoming popular (ℓ.3) (普及してきている) という説明だけで終わらせるのではなく、over 30% of the refrigerators sold in North America are smart ones (ℓ.4) と具体的な数値を出すことによって、情報に説得力をもたせることができる。

Pick-Up about は「～について」の意味がよく使うが、be about to do で「～しようとしている・～するところである」を表す。... food are about to spoil (ℓ.8) は「食べ物が腐りそうだ」という意味になる。

### 各レッスンの目標

各課のGOALとなる  
WRITE で達成した  
いTARGETを設定

### Start-Up 英文が WRITE のヒント

100-140語程度の  
モデル英文

### TARGET達成の ヒントを紹介

Smart IIの特長

トピックに合わせた  
さまざまな種類の  
TASK (活動)

ロールプレイ

写真描写

Interactions Talking about and Using Modern Technology

A 人やものについて詳しく伝える

名詞+形容詞句・前置詞句

- ① Smart devices **full** of useful functions are an essential part of our lives now.
- ② Can you imagine a life **without** your smartphone?

**F-GUIDE** 形容詞句や前置詞句で名詞に説明を加える場合は、その名詞の直後に説明を続ける。

**CHECK** Imagine you are at an electronics store. Tell a sales clerk the kind of products you are looking for. Use the given words.

- 1. Do you have \_\_\_\_\_? [ big enough to store a lot of food ]
- 2. I need \_\_\_\_\_. [ with a good camera ]
- 3. Could you show me a good \_\_\_\_\_? [ under 1,000 dollars ]

**TASK** In pairs, take on the roles of customer and sales clerk at a smartphone store in the following situation. After a few exchanges, switch roles.

Customer

There is something wrong with your smartphone's camera. Persuade a sales clerk to have your smartphone repaired within a week.

Sales clerk

You need to send the smartphone to the manufacturer to repair its camera. So, it will take some time.

交渉する

- ・ Can I ...?
- ・ Could [Would] you ...?
- ・ If possible, I would like you to ...
- ・ Is there any other way?

B ものの機能や人の特徴を説明する

名詞+分詞句 (分詞の限定用法)

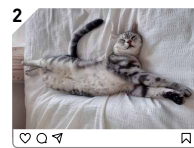
- ③ There are many people **posting** videos on social media.
- ④ The photos **taken** with this smartphone camera are beautiful.

**F-GUIDE** 名詞のあとに分詞句を続けて説明を加える場合、「している」「する」という能動の意味であれば現在分詞、「された」「されている」という受動の意味であれば過去分詞を使う。

**TASK** In pairs, describe the following photos (1-3) posted on social media and tell your partner what you think about them. Then, have one person draw an illustration (4) and the other describe it.



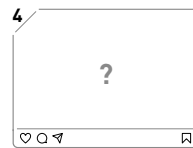
1 [ wear / skateboard ]



2 [ stretch / sleep ]



3 [ reflect / beautiful ]



4 [ ? ]

Vocabulary

- ・ air purifier
- ・ rice cooker
- ・ air conditioner
- ・ vacuum cleaner
- ・ shoot a video
- ・ edit a video
- ・ post a video
- ・ stream music online
- ・ online shopping
- ・ food delivery service
- ・ online meeting
- ・ cashless payment
- ・ get directions
- ・ read an ebook
- ・ track an order
- ・ check the reviews

C 何かの特徴や使い方を説明する

名詞+不定詞句 (不定詞の形容詞用法)

- ⑤ Streaming music online is a popular way **to listen** to music.
- ⑥ Can I use my smartphone in class? I have **something to look up**.

**F-GUIDE** 名詞に不定詞を続けて、「何をする人・ものなのか」という説明を加えることができる。

**CHECK** Listen to a passage about online food delivery services and fill in the blanks.

These days, online food delivery services are becoming \_\_\_\_\_ food and meals. If you want \_\_\_\_\_, you can easily order with your smartphone. These services also provide \_\_\_\_\_ you know the reputation of the restaurants. My family often orders dinner online, especially on weekends.

**TASK** Tell your partner what kind of online services you and your family use as in the passage above.

D 未来の社会について述べる

形容詞を使う構文

- ⑦ Environmental problems **are likely to get worse** 10 years from now.
- ⑧ Electric vehicles **are sure to replace** gasoline-powered cars.

**F-GUIDE** 形容詞に不定詞を続けて、**be likely to do**「～しそうだ」、**be sure [certain] to do**「きっと～する」というような使い方をすることができる。

**TASK** Write about what you think 1) PCs, 2) virtual reality technology, and 3) environmental problems will be like 10 years from now. You can use the words from the list below.

[ likely / certain / sure / out of date / replace / survive / get worse / solve / improve ]

e.g. PCs are likely to be out of date 10 years from now, but I think smartphones are sure to survive in the future. I'm certain that devices as thin as plastic wrap will become popular.

難しめのトピックには「書く」活動

- ・ subscribe to a channel
- ・ install an app(application)
- ・ smart device
- ・ EV / electric vehicle

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A お店の人に、自分の要望について詳細を伝えることができる。
- B 写真やイラストに登場した人やものの特徴を表すことができる。
- C よく使うオンラインサービスについて説明できる。
- D 未来の社会がどうなるのかについて、予測を伝えることができる。

リスニングで聞いた内容を参考に活動を行う

例文が TASK を行う際のヒントに

## Active Learning A Life of Convenience

**SHARE** Talk about a smart device.

① Look at the smart device ad. Which smart device would you like to have?



② In groups, have a discussion about a smart device that you'd like to have.

**Peer Review**

欲しいスマートデバイスについて伝えることができた。③②①  
グループでスマートデバイスについて話し合うことができた。③②①

**WRITE** Introduce a device.

Write an essay about what device has made your life more convenient in about 90-110 words.

文章の組み立てのヒント

**Step 1** 紹介したいものを提示する

e.g. We are living in a world with many smart devices. Among them, one device that has made my life more convenient is the smart speaker.

**Step 2** 具体的な特徴を挙げる

e.g. The most popular way to use a smart speaker is to listen to music. It is a device with a voice recognition system. If I ask it to play certain music, it follows my command immediately.

**Step 3** 補足情報や今後の見通しを述べる

e.g. Smart speakers can also handle many other tasks given by its owner. For instance, you can use them as a calculator, a dictionary, or an easy way to call a taxi. Smart speakers are sure to become essential household devices. (101 words)

**Peer Review**

便利なデバイスについて、具体的に伝えることができた。③②①  
デバイスについて、補足情報や意見を述べることができた。③②①  
単語 文法 論理 のチェックもしよう!

**INTERVIEW**

**Q1:** Do you think cashless payments are a good way to buy things? Why or why not?  
**Q2:** These days, we can buy many things online. What do you think about this?

SHARE で WRITE の  
ブレインストーミング。  
ペアやグループでアイ  
デア出し

関連したトピックで  
自分のことを答える  
質問。英検二次試験  
対策にも。

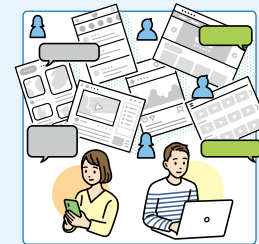
## LESSON 6 Sharing Information

TARGET 情報を共有する



**Start-Up** Kento is researching misinformation on social media. This is an article about how we get our news.

Over the past 20 years, the way people in Japan get the news has changed a lot due to new technology and lifestyle changes. In the past, many people relied on newspapers and television for their news. Now, more people use digital platforms to get information, especially younger generations who often check the news on their smartphones or social media. This shift, which has made news easier to access, has also made it possible for anyone to become a source of news. This has led to problems like misinformation. For both delivering and receiving news, we need to find ways that are both innovative and trustworthy.



Listening-TASK Q1 ①②③ Q2 ①②③

**Try!** 1. ニュースとの接し方は過去から現在へとどのように変化したが、時を表す語句に着目して確認しよう。  
2. ニュースとの接し方の変化はどんな問題につながり、その問題にどう対処すべきだと述べているかを確認しよう。

### Forms 関係詞を使って名詞に説明を加える

関係代名詞を使うと, younger generations who often check the news ... (ℓ.6) や find ways that are both innovative ... (ℓ.10) のように, 名詞のあとに説明を加える節を続けることができる(人についての説明には who, 人以外の説明には that か which を使う)。また, This shift, which has made news easier to access, has ... (ℓ.7) のように, 名詞に補足情報を加えるときは関係代名詞の前にコンマを入れる(非限定用法)。この文では which has made news easier to access が This shift についての情報を加えている。

### Expressions 原因や理由をはっきりと示す

the way people in Japan get the news has changed a lot due to new technology and lifestyle changes (ℓ.1) のように, due to を使うことで原因をはっきりと示すことができる。due to や because of には名詞を, because には節を続ける。

### Speaking 関係詞は弱く発音する

関係詞は機能語なので, 通常は「弱くすばやく」発音される。This shift, which has made news ... (ℓ.7) のような非限定用法の場合は, コンマの部分でひと呼吸おくことで補足説明であることを伝えるようにする。

### Tips for Logical Communication 過去から現在への変化を伝える

Over the past 20 years (ℓ.1) のように, over のあとに時間を示す語句を続けると, 「～にわたって」と時の経過を表すことができる。続く文で In the past, ... (ℓ.3), Now, ... (ℓ.4) を文頭で使うことで, 20年にわたって何が変化したのか, 過去はどうだったのか, 現在はどうかを, 3つの文でわかりやすく伝えている。

**Pick-Up** the way people in Japan get the news has changed a lot (ℓ.1) では, the way ... news までが「日本で人々がニュースを入手する方法」という意味の主語になっている。

Smart IIの特長

- 関係代名詞など、苦手とする生徒が多い文法項目は **CHECK** で確認してから **TASK** へ。
- イラスト描写やリスニングなど、多様な **CHECK** 問題をご用意。

Interactions Talking about the Latest News

A どのような人・ものか説明を加える (1)

関係代名詞 (限定用法: 主格)

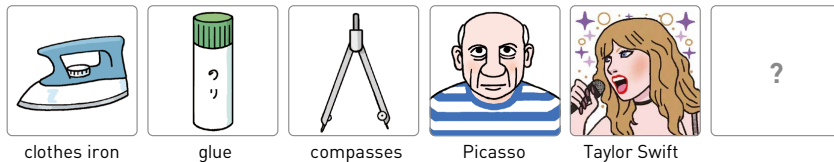
- ① He is a singer **who** is very popular overseas as well as in Japan.
- ② The movie **which** is now a big hit will surely win an Academy Award.

**F-GUIDE** 関係代名詞は直前の名詞 (先行詞) がどのような人・ものかという説明を加えるときに使う (先行詞が人なら **who**, 人以外なら **that** か **which** を使う)。関係代名詞が節の中で主語のはたらきをするときは、動詞があとに続く。

**CHECK** Using the pictures below, quiz each other in pairs, as in the example.

**Q:** It's something that is used to make clothes smooth.

**A:** That's a clothes iron.



**TASK** Tell your partner about one of your favorite artists or singers. Be sure to include what they have done and what you think about them.

B どのような人・ものか説明を加える (2)

関係代名詞 (限定用法: 目的格)

- ③ An online news article **that** I read yesterday was fake.

**F-GUIDE** 関係代名詞が節の中で目的語 (前置詞の目的語の場合も) のはたらきをする場合、先行詞が人なら目的格 **whom** (whom の代わりに **who** を使うことが多い), 人以外なら **that** か **which** を使う。この関係代名詞は省略でき、その場合は先行詞に (主語+動詞) が直接続くことになる。

**TASK** In pairs, talk about a news topic you are interested in. You can choose any topic you like.

[ **HINTS:** generative AI / food shortage / fake news / climate change / space tours / esports / infectious diseases / natural disasters ]

**e.g. A:** Have you heard of generative AI?

**B:** Yes, but I don't know much about it. What exactly is it?

**A:** It's AI that can create new content, such as novels, pictures, and music. Some people are even using it to help them start new businesses.

情報をたずねてみよう

- ・ What exactly is it?
- ・ What does it exactly mean?
- ・ How do you do it?
- ・ What is the cause of the problem?

Vocabulary

- |                          |                    |                   |                       |
|--------------------------|--------------------|-------------------|-----------------------|
| ・ make clothes smooth    | ・ star in          | ・ media literacy  | ・ outbreak            |
| ・ join things together   | ・ be fascinated by | ・ zero gravity    | ・ wildfire            |
| ・ draw circles           | ・ be attracted by  | ・ poverty problem | ・ heat wave           |
| ・ gain global popularity | ・ fact check       | ・ vaccine         | ・ tourist destination |

C 情報やコメントを追加する

関係代名詞 (非限定用法)

- ④ The prime minister, **who** is on vacation, went to the theater yesterday.
- ⑤ He is said to be one of the greatest baseball players of all time, **which** is true.

**F-GUIDE** 特定されている人やものを表す名詞に情報を追加したいときは、関係代名詞の前にコンマを入れる (非限定用法)。この場合、**that** は使えない。非限定用法では、前の文の内容に説明やコメントを加えることもできる。

**CHECK** Listen to a report from an English language radio program and answer the question.

**Question:** According to the report, which one of the following is true about Yakushima?

1. Yakushima is a very popular travel destination for tourists from abroad.
2. *Yakusugi* is a kind of giant cedar tree found in the forests of Yakushima.
3. Many of the *yakusugi* trees are over 3,000 years old.

**TASK** Imagine you are a reporter for an English language radio program. Introduce one place you've visited to make your listeners want to visit that place, as in the report you've just heard.

D 時・場所・理由について情報を加える

関係副詞

- ⑥ The company announced the date **when** they would release the new movie.
- ⑦ The caves **where** ancient people used to live are now a popular tourist destination.
- ⑧ I don't know the reason **why** the Japanese media didn't report on this issue.

**F-GUIDE** 関係副詞の **when** は時について、**where** は場所についての情報を加えるときに使う。関係副詞の **why** は reason を先行詞にしたり、That's why ... のような形で使う。

**CHECK** Connect two sentences using when, where, or why as in the sentences above (⑥⑦⑧).

1. I will never forget the day. / I met my cat, Tama.
2. I found Tama in the park. / I often practiced dancing.
3. I don't know the reason. / Tama is so important to me.

**TASK** Write about a day when something special happened, the place where it happened, and why it was so special.

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A どのような人・ものか、聞き手にわかるように説明できる。
- B 最近の話題について、詳細な情報を伝えることができる。
- C 印象的な話題に、補足的な情報を添えて説明することができる。
- D さまざまなトピックに、時・場所・理由の情報を加えて説明することができる。

- ・ be worth doing
- ・ be well-known for
- ・ be popular with/among
- ・ perfect for those who love nature

Smart IIの特長

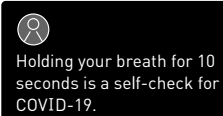
フェイクニュースなど、身近な時事問題が活動のトピックに。

Active Learning  
Thinking about News

**SHARE** Talk about the problem of fake news.

① Read the message from the WHO about fake news awareness.

Fake news:



**FACT:** Being able to hold your breath for 10 seconds or more without coughing or feeling discomfort DOES NOT mean you are free from the coronavirus disease (COVID-19) or any other lung disease.  
#COVID-19 #KnowTheFacts

World Health Organization. (2020). Coronavirus disease (COVID-19) advice for the public: Mythbusters. を基に作成

② Talk in pairs starting with "Have you ever wrongly believed fake news?"

**Yes** ⇒ Give an example of fake news you believed.

**No** ⇒ Tell your partner how you distinguish fake news from real news.

Peer Review

フェイクニュースについて、経験を伝えることができた。③②①  
ペアの相手とフェイクニュースについてやり取りができた。③②①

**WRITE** Introduce an impressive news report you've heard.

Write about one recent news report that left a strong impression on you in 100-120 words.

文章の組み立てのヒント

**Step 1** 紹介したいニュースを提示する

**e.g.** Recently, I saw a news report about a wildfire in California in the U.S. The fire quickly destroyed large areas. It was a terrible disaster.

**Step 2** 紹介したいと思った理由や身近な事例を挙げる

**e.g.** I remember a time when my family took a vacation in California. I had a very good time there. Unfortunately, the news showed that one of the hotels where we stayed burned down. Seeing this news was very shocking.

**Step 3** 自分の考えを加える

**e.g.** These days, I often hear news about wildfires. One reason why so many fires are breaking out is climate change. Young people like us should pay more attention to this and take action in our daily lives. Hopefully, we can help change the situation, which may help reduce the number of wildfires in the future. (119 words)

Peer Review

印象深いニュースについて、具体的に伝えることができた。③②①  
ニュースの話題について自分の意見を加えることができた。③②①  
単語 文法 論理 のチェックしよう！

INTERVIEW

**Q1:** Where do you usually get your news?

**Q2:** What kind of news do you think should be reported more? Why?

Smart IIの特長

**TASK** や **WRITE** で難しいトピックを扱う場合、考えるヒントとなる資料をご用意。

EXTENSION ①

未来のイノベーションを考えよう

78ページ参

イノベーションとは、「もしもこんなものがあたら...」「こんなことができればいいな」といった思いをタネとして生まれるもの。現在広まりつつあるさまざまなテクノロジーが、さらに発達したらどんなことに使えるか——日常生活のちょっとした不便から社会課題・グローバル課題まで、枠にとらわれずに、未来のイノベーションの可能性や問題点を想像してみてください。

Automated driving [自動運転]

自動運転車の開発が進んでおり、完全自動運転車の実用化も近いとされる。自動車に限らず、人や物を運ぶ機械としては何が考えられるか。人間の運転・操縦では実現困難なことは何か。

HINTS

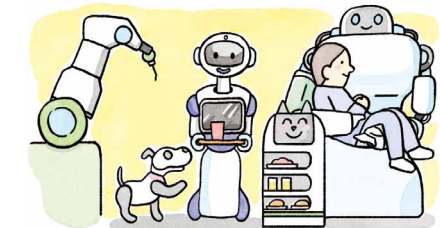
fully self-driving, vehicle, transportation, airplane, bicycle, drone, elderly people, safety

Robot [ロボット]

ヒト型・動物型や、機能に特化した産業用など多種多様なロボット。何の代わりとして何をさせたいか。AIなどを搭載した自律型か、人間が操作するとしたらどんな操作方法が考えられるか。

HINTS

household work, medical care, farming, disaster, amusement, customer service, disability

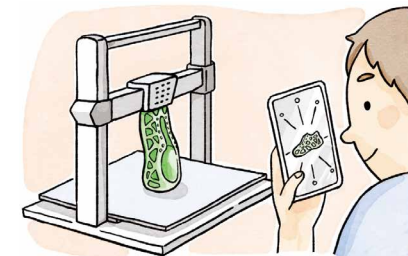


3D printer [3Dプリンター]

3次元のデジタルデータを基に、どんな形状でも立体物として正確に作り上げることができる。3Dプリンターそのもののサイズや、用いる材料などについて、想像を広げてみよう。

HINTS

three-dimensional, size, material, handmade, precision, food, fashion, building, body parts



IoT (Internet of Things)

[IoT (モノのインターネット)]

さまざまな機器がネットにつながる社会。ネット家電はすでに身近になっている。何と何がつながれば、どんなことが可能か。「まだネットにつながっていないもの」を思い浮かべてみよう。

HINTS

smart device, electrical appliance, sensor, camera, GPS, infrastructure, security, privacy

Universal translator [汎用翻訳機]

あらゆる言語をリアルタイムで翻訳・通訳できるシステムが実現したら、どんな見た目や操作方法がよいだろうか。そして、どんな場所・状況で使えるだろうか。

HINTS

education, business, tourism, emergency, entertainment, sign language, earphones, glasses

VR (Virtual Reality) [VR (仮想現実)]

現在ではヘッドセットが必要で、視覚・聴覚を中心としているが、特別な機器が不要になり、嗅覚・味覚・触覚を含めた、全身的な体験が可能になったら、VRでどんな体験ができるだろうか。

HINTS

VR headset, senses (sight, hearing, smell, taste, touch), simulation, training, art, movie

Speech



スピーチをしてみよう!

スピーチは、聴衆の前で自分のことを伝えたり、あるテーマについて自分の考えを述べたりする活動です。効果的なスピーチをするためには、自分が話しやすく、聴衆には聞きやすく理解しやすいスピーチ原稿を書く必要があります。また、原稿を見なくてもスピーチができるようになるまで、何度も繰り返し練習することも大切です。さらに、話しているときには、アイコンタクト、声の大きさ、話す速さなどにも注意を払いましょう。

1. スピーチ原稿の例

**Introduction** (序論), **Body** (本論), **Conclusion** (結論) の3パートから構成されています。Body では、論点①、論点②の2つの論点を述べ、具体例や根拠も挙げていることに注目しましょう。これにより、意見に客観性と説得力をもたせることができます。

**Introduction** あいさつ、トピックの紹介

Hello, everyone.

Today, I'd like to talk about **the importance of communicating face to face.**

**Body** 自分の考え・思いと、それをサポートする情報

Nowadays, many people communicate online using social media. **However,** I strongly believe that we should talk face to face more. There are two reasons for

this. **First,** we can understand the other person's feelings better by communicating

directly. **For example,** your partner's facial expressions, tone of voice, and body

language can give you a lot of information to have a better understanding. **Next,** we can avoid misunderstandings by talking directly. Our messages on social media are

often misunderstood by others, **but** if you are talking face to face, you can make sure your messages are understood correctly or correct your statements when necessary.

**Conclusion** まとめ

**Therefore,** I think face-to-face communication is important. **Thank you very much for listening.**

2. スピーチ原稿を書こう

左の例を参考にして、オリジナルのスピーチ原稿をつくりましょう。その際、以下のフォーマットを利用してください。トピックは前ページと同じものでも、自分独自のものでもかまいません。

トピック例

- We should read newspapers more.
- We should stop attacking people on social media.
- The most impressive news I've heard recently
- The good points about smartphones

トピック ( )

**Introduction**

最初のあいさつ \_\_\_\_\_

トピックの紹介 \_\_\_\_\_

**Body**

論点① \_\_\_\_\_

論点①をサポート \_\_\_\_\_

論点② \_\_\_\_\_

論点②をサポート \_\_\_\_\_

**Conclusion**

まとめ \_\_\_\_\_

終わりのあいさつ \_\_\_\_\_

**Introduction** に使える表現

- I'd like to talk about ....
- Let me tell you about ....

**Body** に使える、論理展開を表す表現

- 列挙する** ・ first(ly) ・ second(ly) ・ third(ly) ・ then ・ next ・ finally / lastly
- 理由を表す** ・ because ・ The reason is that .... ・ That's because ....
- 対比する** ・ while ・ on the other hand ・ in contrast
- 例示する** ・ for example ・ for instance ・ such as ...
- 逆接を表す** ・ but / however ・ though / although
- 追加する** ・ moreover ・ in addition ・ furthermore

**Conclusion** に使える表現

- Therefore, ....
- Considering these points, ....
- In conclusion, I'd like to say that ....
- As a conclusion, I'd like to say that ....
- Thank you for listening.
- Thank you for your attention.

Extra Activities ④

文章や発言の要約をしよう!



文章に書かれている最も重要な情報を、自分のことばで簡潔にまとめるのが要約 (summary) です。要約する (summarize) 練習をすることで、文章の中で何が重要なかを的確に判断する力をつけることができます。

要約は、ライティングやプレゼンをする際に資料となる文章の要点をまとめるのに必要なだけでなく、ディスカッションやディベートで相手の発言の要点をまとめ、それをふまえて自分の意見を述べる際にも有効です。

ここでは、文章を要約するTASKに取り組みながらパラフレーズ(言い換え)のしかたを確認し、さらに、発言内容を1文で言い表すTASKに取り組みましょう。

**TASK 1** LESSON 12の **Start-Up** の文章 (p.81) を35語程度で要約しなさい。

まず、**Start-Up** の文章を読んで重要な部分に下線を引き、次に、要約に盛り込む内容を書き出してみましょう(メモ程度でかまいません)。

- メモの例
- ・日本社会が多様性に注意を向け始めたのは最近のこと→グローバル化の影響
  - ・多様性の教育(ダイバーシティ教育)が必要→家庭で始める
  - ・多様性は教室で受け入れられるべき→話し合いによる相互理解

文章を読むときは「論理展開を示す表現」に注目します。この文章の場合、in other wordsの前後は同様の内容であること、howeverのあとには前に述べたこととは異なる重要な情報が続くこと、for exampleのあとには具体例が続くことがわかります。

次に、書き出した内容をもとにして要約文をつくります。要約をする際に大切なのは次の2点です。

- ① 文章中の重要な情報のみを盛り込む(細かい情報は入れない)
- ② 自分のことばを使って再構成する(意味は変えない)

要約例 Japanese society has recently recognized the importance of diversity due to globalization. Diversity education should be promoted both at home and in the classroom. Classroom discussion can help foster mutual understanding among a wide variety of students. (37 words)

パラフレーズ(言い換え)をする

要約をする際は、もとの文の意味を変えないで自分なりに表現し直すことが必要です。これがパラフレーズ(paraphrase)です。パラフレーズには次のような方法を使うことができます。

- ・類義語を使う
- ・類似表現を使う
- ・品詞を変える(動詞を名詞に、副詞を形容詞に、など)
- ・文構造を変える
- ・語順を変える
- ・複文を単文に変える
- ・複数の文を1文にまとめる
- ・態を変える(能動態⇄受動態)

パラフレーズをする際には文脈が不自然にならないように注意する必要があります。特に、態を変える場合は前後のつながりを必ず確認するようにしましょう。

**TASK 2** 次の文章を50語程度で要約しなさい。

In Japan, vending machines are everywhere, in both cities and the countryside. They sell a wide variety of products and now use advanced technology like AI. They are a symbol of Japan's culture of convenience and have become indispensable in our daily lives.

One good point about vending machines is that they are available 24/7. They allow people to access products whenever needed without visiting a store. Purchases can be made quickly and efficiently. Additionally, they can serve as a vital resource during major disasters by providing drinks and other essentials.

On the other hand, vending machines also have some bad points. They consume a significant amount of electricity due to their heating or refrigeration systems, which operate around the clock. Moreover, some people throw empty cans and bottles on the street after using vending machines. This hurts the environment and makes the surrounding area look messy.

**STEP 1** 重要な情報に下線を引く

**STEP 2** パラグラフごとに要約に盛り込む内容を書き出す

**STEP 3** パラフレーズをしながら要約文を書く(論理展開を示す表現を使うこと)

要約例 Vending machines, which symbolize convenience, are everywhere in Japan and sell many things. They operate all day, offering quick access to products and helping during disasters. However, they use a lot of electricity and can harm the environment when people throw away cans or bottles on the street. (48 words)

**TASK 3** LESSON 12の **Start-Up** の文章 (p.81) に書かれている筆者の主張を1文で言い表しなさい。

ディベートでは、相手チームの主張をThe team taking the affirmative[negative] position said that ....という表現を使って簡潔にまとめてから自分たちの主張を展開します。また、ディスカッションでは、司会者(moderator)が発言者の主張をSo, your point is ....やOK, you are saying ....のような表現を使って簡潔にまとめながらディスカッションを進めていきます。ディベートもディスカッションも、発言の内容を注意深く聞いて内容を理解し、重要なポイントを1文で簡潔に示すことが求められます。

要約例 The author insists on promoting diversity education at home and in schools to foster mutual understanding.